

---

# あの日の午後

宝玉

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

あの日の午後

### 【Nコード】

N2052D

### 【作者名】

宝玉

### 【あらすじ】

このお話は、遊戯王のあの日の午後という唄をもとにしました。最終回後にアテムが教室の上からみんなを見守っています。

遠い遠い昔にも、ここにいたような気がする。真っ赤なこの夕日が彩る、放課後の教室に。

あの頃はみんなが笑って、楽しかった。まあオレは、相棒がみんなと話しているのを千年パズルからただ見てただけだな。みんなと過ごした日々はどんなに時が経ったって忘れはしない。いつもオレがオレであるためにと、がむしゃらにただ、前だけ見て生きてきた。オレがみんなのまえから消えて、気がついた、『他愛もないこの時間に守られてる』って。あの時は全然気づかなかった。

みんなそれぞれ求めるもの、夢は違った。だが、寄せ合った心は同じだった。先の長いこれからの人生。オレはずっとみんなのことを見守っていたい。ずっとずっと、永遠に。

なあ、相棒？ 聞いているか、見ているか？

お前がお前であるためには、何を望み、何を夢見る？ オレにできることは何でも用意してるぜ、口ではいえなくても……。叶えるものには限界はあるが。

どんな時、どんな場所、どんな場合でも少しずつ時は流れる。また相棒たちに逢うときにもきつと、あの夕焼けがみんなを包む。いつもオレがオレであるために、何かを探し続けた。そして今、答えを見つけた。『他愛もないこの時間』がオレにとっての一番の答えだ。これからも、ずっとずっと。

また逢おうな、相棒、みんな。オレだって寂しいぜ・・・！

オレからの願いはただ一つ。みんないつまでも仲良く、楽しくすごしてくれ。お前らもそのほうがいいだろう？ また来るぜ、じゃあな・・・。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n2052d/>

---

あの日の午後

2010年10月8日23時28分発行